

いきいきゼミナール



る「後鼻漏(こうびろう)」がせきを誘発することもあるので注意が必要です。

後鼻漏について
教えてください

鼻炎による鼻汁が前に流れて出てくるのがいわゆる鼻水で、のどの後ろ側に流れ落ちるのが後鼻漏です。だれでもある程度の鼻汁はのどに流れていきますが、その量が増えたり、粘性が高まって濃くなったりすることで起きます。たんが絡んだせきが出る、たんがのどに張り付くなどが主な症状です。

後鼻漏の原因はさまざまですが、

鼻の周囲にある副鼻腔で炎症が起きる急性副鼻腔炎や、慢性的に副鼻腔に炎症がおき、膿がたまる慢性副鼻腔炎(蓄膿症)があります。アレルギー性鼻炎、風邪によって引き起こされることが多く、せきぜんそくや気管支ぜんそくを合併しているケースも少なくないです。

原因が分かれば、その疾患を薬などで治療することで症状の軽減や消失を期待できますが、後鼻漏を伴うぜんそくなどでは、治療に伴い喘鳴は早めに良くなりますが、後鼻漏によるたんのからんだせきの症状は数カ月単位で続く場合も多く、治療に難渋することがあります。根気強い治療が必要です。

テーマ 北海道の花粉症と後鼻漏

ゲスト 医療法人社団 大空会 大道内科・呼吸器科クリニック 大道 光秀 院長

北海道の花粉症について
教えてください

春はダニアレルギーと花粉症の季節です。北海道の花粉症、特にシラカバは、4月中旬～5月下旬がピークです。本州に多いスギ花粉はわずかで、ハンノキ、シラカバなどカバノキ科の花粉症が主体です。その頃には鼻水や鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみなどの花粉症の症状とともに、せきが長く続いて来院され

る患者さんが増えてきます。同時に、ぜんそく患者さんの中にもせきや、息を吐くときに「ヒューヒュー」「ゼーゼー」と音がする喘鳴が現れたり、鼻炎の症状を伴ったりする患者さんが多くなります。ダニも花粉もぜんそくや鼻炎といったアレルギー性の疾患を悪化させる原因物質(アレルゲン)です。鼻と気管支は空気の通り道として一つにつながっているため、ダニアレルギーや花粉症の悪化の程度と、ぜんそく症状は

密接に関連しているのです。

春になり、花粉症などのアレルギーの症状、発熱やレントゲンでの異常がないのにせきが長く続くことでお悩みの方は、呼吸機能検査や血液検査などでアレルギー素因を持っているか、ぜんそくをもっていないかを調べてみることをお勧めします。原因を特定し、それに合った治療を受けることが大切です。

また、鼻水がのどの奥に流れ落ち

病院
訪問 医療法人社団
大道内科・呼吸器科クリニック

喘息(ぜんそく)、肺炎、サルコイドーシス、肺気腫、花粉症などのアレルギー性疾患などの呼吸器疾患を専門とするクリニック。風邪、せき、たん、他の内科、特定疾患にも対応しています。ヘリカルCTや気管支鏡検査など、呼吸器専門の設備があります。



住所/札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル3階
電話番号/011-233-8111
診察受付/月・火・木・金曜
9:00~12:30 14:00~18:00
水・土曜 9:00~12:30
※新規の患者さんの受付は午前11時30分まで、
午後17時まで。
※土曜完全予約制(ただし、原則として予約優先とはなりません。直接ご来院頂いた場合も診療受付致します。)
休診日/日曜・祝日
<https://www.ohmichi.or.jp/index.php>

院長/大道光秀 副院長/北田順也 医師/新沼ゆかり